

2020年5月30日

神奈川県立相模湖交流センターにおける 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

1. 目的

新型コロナウイルスの感染経路の中心は、飛沫感染及び接触感染と言われています。人と人との距離をとること（Social distancing：社会的距離）、マスクを着用すること、咳エチケットを心がけること、さらに室内の換気を十分にすること、加えて自己の健康管理をしっかりすること等で、自己のみならず、他人への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することが必要です。

神奈川県立相模湖交流センターでは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、施設利用者が遵守すること、施設管理者が取り組むべきことをガイドラインに整理し、施設における感染拡大を防止します。

2. 施設利用再開の概要

6月2日より段階的に一部閉鎖施設を開放し、フルオープンは6月19日とします。

- ・ 駐車場、ホワイエ部は6月2日より開放する。
- ・ 1階情報コーナーは、新聞閲覧などで接触機会増加になるので当面は利用不可。
- ・ 6月18日までは、現在予約されている団体のみ利用可能とし、新規の予約は受け付けない。9月以降の予約は、すでに通常通りであるが、6月19日～8月31日分の利用予約は、ネット（e-kanagawa）からの予約は不可。当館窓口及び電話による受付で、内容を判断し県対処方針（※別紙資料1）に沿った貸し出しのみ受け付けます。
- ・ 相模湖記念館は、相模原市の方針に基づいて7月10日に再オープン予定。
- ・ 接触等衛生面の観点から、相模ダムカードの配布中止は当面継続します。

再開にあたっては、共用物の衛生管理として、従来から行っていたドアノブ、手すり、トイレ等の消毒の他に、机、椅子設備・機材等の消毒をさらに徹底します。

3. 施設利用者の取組 ※利用者へは別紙を手交し注意喚起

(1) まめな手洗い

電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。施設の入館時や休憩時など、30秒程度かけて水と石けんで丁寧に、まめに手を洗いましょう。

(2) 3つの密を避ける

①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を行ないましょう。

■風の流れることができるよう、数分程度の換気を毎時2回以上しましょう。

②「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう。

■人と人との間隔は、できるだけ2m以上（最低1m）空けましょう。

■エレベーターでは、混みあっているときは、一本遅らせましょう。

③「密接」した会話や発声は、避けましょう。

■会話をするときには、可能な限り真正面を避けましょう。

■ガイドラインによる定員枠内での利用時、対面での会議や会合が避けられない場合には、十分な距離を保ち、マスクを着用しましょう。

■エレベーターやトイレ、洗面所の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。会話や携帯電話による通話を慎みましょう。

(3) 咳エチケット

くしゃみや咳の飛沫は、ウイルスを含んでいる可能性があるため、次の咳エチケットを心がけましょう！

- ・マスクの着用
- ・ティッシュなどで鼻と口を覆う
- ・とっさの時は袖や上着の内側で覆う
- ・周囲の人からなるべく離れる

(4) 自己の健康管理

発熱または風邪の症状がある場合には入館を見合わせ、無理せず自宅で療養しましょう。

(5) 感染防止のためのチェック

施設を利用する際に、自己や参加者の感染リスクを回避できているかどうか、チェックしましょう。新型コロナウイルス感染症の拡大防止チェックリスト参照。

4. 施設管理者の取組

(1) 共用物の衛生管理・換気の徹底

- テーブル、椅子、ドアノブ、階段等の手すり、エレベーターのボタン、トイレの便座、便座のふた、流水レバー、利用設備・機材等の消毒を1日1回行います。
- 換気設備による換気を行うとともに、毎日2回以上の正面入口の開放による外気取り入れ。

(2) ソーシャルディスタンスの確保

- 施設利用者に対して、周囲の人とのソーシャルディスタンス(2m以上、最低1m)を保つよう表示・周知します。
- 1階総合案内所において、利用者と対面する場所にビニール等の仕切りを設置します。
- 密集・密接、さらに接触等を避けるため、1階情報コーナーは利用中止とします。

(3) 保健衛生対策の徹底

- 職員は、自己の飛沫を防止するため、マスクを着用して施設利用者に対応します。
- まめな手洗い、咳エチケットの徹底を表示。周知するとともに自らも行います。
- 1階入り口に消毒液を設置します。
- 職員は体調管理に留意し、できるだけ人込みに近づかないなどの自己の健康を確保します。

(4) 会計時等の非接触

- 施設利用者に銀行振込などの非接触型決済を推奨、または支払い時にコイントレイを使用します。

(5) 緊急時の連絡体制の構築

- 後に利用者の感染が確認された場合に備えて、利用者氏名・連絡先の把握に努めます。
- 受付時に「LINE コロナお知らせシステム」を案内し、万が一施設において感染者が発生した場合に、施設利用者に迅速に連絡できるようにします。

新型コロナウイルス感染症対策の神奈川県対処方針より〈抜粋〉

2020年6月2日現在

緊急事態宣言後のイベントの開催については、小規模イベント(屋内100名以下、屋外200名以下)について自粛要請の解除。

ただし、イベント開催にあたって、リスクへの対応が整わないと判断される場合は中止または延期等、主催者に慎重な対応を求める。

また、屋内で開催されるイベント等については、収容定員に対する参加人数の割合を半分程度以内とするよう求める。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止チェックリスト

神奈川県立相模湖交流センターでは、施設を利用される皆様に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止への協力をお願いしています。ご自身と参加者の感染リスクを回避するため、次のチェックリスト項目を徹底していただくよう、お願いします。

このチェックリストは、速やかにご提出ください

令和 年 月 日

団体名

代表者名

連絡先（電話番号）

※利用者の感染が確認された場合に備えて、利用者名、連絡先を把握させていただきます。

（新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた神奈川県の基本方針に基づく）

✓取組項目をチェックしてください。

人と人の距離（ソーシャルディスタンス）の確保 ※2m以上、最低1m	
<input type="checkbox"/>	他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離を取る
<input type="checkbox"/>	対面で着席をさせない座席配置の工夫
<input type="checkbox"/>	近距離での会話や発声を避ける呼びかけ
主催者及び参加者の保健衛生対策の徹底	
<input type="checkbox"/>	マスクの着用（咳エチケット）の周知・徹底
<input type="checkbox"/>	入館後のまめ手洗い、換気についての周知・徹底
<input type="checkbox"/>	発熱や風邪症状（せきやのどの痛みなど）のある方の参加見合わせ
会計時等の非接触	
<input type="checkbox"/>	会計、販売を行う場合の支払い時、コイントレイを使用する
感染が発生した際の利用者への情報提供	
<input type="checkbox"/>	「LINE コロナお知らせシステム」等の活用案内

提出先：神奈川県立相模湖交流センター 1階総合窓口